

## 2) デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る K P I の上方修正について

- ① 「竹田市トリニティ・プロジェクト「三位一体による移住体制づくり」～『質』の高い移住へ～」の K P I の上方修正

## 【数値目標】変更前

KPI	事業開始前	2023年度増加分 (1年目)	2024年度増加分 (2年目)	2025年度増加分 (3年目)	2026年度増加分 (4年目)	2027年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
①竹田市の施策による移住した世帯(市外)	22	25	25	27	27	30	134
KPI①実績	25	25					
②地域・企業・行政が連携した社会人インターシップに参加し移住した世帯数	0	2	3	4	5	6	20
KPI②実績	0	3					
③大分県マッチング事業「ふるさと求人マッチングサイト」に登録した民間事業者	0	10	5	5	3	3	26
KPI③実績	0	10					
④地域コミュニティ基盤強化取組件数	3	2	3	3	3	3	14
KPI④実績	3	2					

## 【数値目標】変更後

KPI	事業開始前	2023年度増加分 (1年目)	2024年度増加分 (2年目)	2025年度増加分 (3年目)	2026年度増加分 (4年目)	2027年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
①竹田市の施策による移住した世帯(市外)	22	25	25	27	30	35	142
KPI①実績	25	34					
②地域・企業・行政が連携した社会人インターシップに参加し移住した世帯数	0	2	3	4	6	7	22
KPI②実績	0	4					
④地域コミュニティ基盤強化取組件数	3	2	3	3	4	4	16
KPI④実績	3	2					

(変更理由)

昨今、地方への移住者数が増加傾向にあり、竹田市移住サイト「+ b u i l d」のトップページ閲覧数を見ると26,926件となっていることから本市への移住に対し関心を持っている移住希望者は多い。

そのような中で、(一社)竹田市移住定住支援センターを移住希望者と地元住民や民間企業等との橋渡しとなれるような受け皿となる組織へ育成していく必要がある。さらに、コーディネートできる人材として地域おこし協力隊 OG を活用し、さらなる体制整備に努めていく必要がある。そして5年目には、これまで培ってきた本事業をとりまとめた総合的なプラットフォームを構築し、行政と(一社)竹田市移住定住支援センターが連携し、さらなる移住や社会人インターシップの促進を図るため K P I ①及び K P I ②については、上方修正を行いたい。

また、現在、地域コミュニティ組織は3組織設立されており、ホームページ作成や SNS を活用した支援、移住者の受入環境の整備などに取り組んでいる。2024年度は、2組織が設立の検討段階にあり、3年目には1組織が設立する予定となる。4年目には新たに1組織を支援する計画とするため K P I ④についても上方修正をしたい。